

## JP8016554

Publication Title:

DOCUMENT PREPARING DEVICE

Abstract:

Abstract of JP8016554

PURPOSE:To unnecessitate the selection of the kind of a document, to simplify an operation and to improve the efficiency of a document preparing work by converting an instructed document as the document of a device and calling this converted document in the document in edition. CONSTITUTION:This device is composed of a display device 1 such as a CRT or an LCD, an input device such as a keyboard, an external storage device 3 such as a floppy disk device and a fixed disk device, and a document preparing device 4. The document preparing device 4 has a document edition means 41, a document instruction means 44 instructing the document prepared by another document preparing device while a document is edited, a conversion means 43 converting the document instructed by this means 44 as the document of the device 4 and a calling means 42 calling the document converted by this means 43 in the document under edition. Thus, the document is automatically converted according to the selected document and a called document can be displayed.

Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

-----

Courtesy of <http://v3.espacenet.com>

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-16554

(43) 公開日 平成8年(1996)1月19日

(51) Int.Cl. <sup>4</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 17/21		9288-5L	G 0 6 F 15/ 20	5 7 0 A

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平6-147359

(71) 出願人 000005108

株式会社日立製作所

(22) 出願日 平成6年(1994)6月29日

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72) 発明者 鶴田 敏夫

茨城県日立市東多賀町一丁目1番1号 株式会社日立製作所情報映像メディア事業部内

(72) 発明者 寺門 健司

茨城県日立市東多賀町一丁目1番1号 株式会社日立製作所情報映像メディア事業部内

(74) 代理人 弁理士 小川 勝男

最終頁に続く

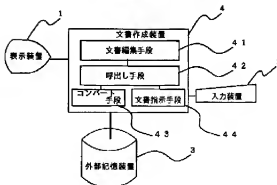
(54) 【発明の名称】 文書作成装置

(57) 【要約】

【目的】 選択した文書に応じて自動的にコンパートして呼出し文書を表示し、文書の種類を選択することなく、操作が簡単で文書作成作業を向上する文書作成装置を提供すること。

【構成】 文書編集集中に他の文書作成装置で作成した文書を指示する手段と、指示した文書を本文書作成装置の文書としてコンパートする手段と、このコンパートした文書を編集集中の文書の中に呼び出す手段とを設けたもの。

図 1



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】表示装置と入力装置と外部記憶装置を持つ文書作成装置において、

文書編集集中に他の文書作成装置で作成した文書を指示する手段と、指示した文書を本文書作成装置の文書としてコンパートする手段と、このコンパートした文書を編集集中の文書の中に呼び出す手段とを持つことを特徴とする文書作成装置。

【請求項2】請求項1記載の文書作成装置において、他の文書作成装置で作成した文書を指示するときに、予め指示する文書の種類を選択させ、その種類のファイルのみを表示する手段を持つことを特徴とする文書作成装置。

【請求項3】請求項2記載の文書作成装置において、指示したファイルの拡張子からコンパートの仕方を決定する手段を持つことを特徴とする文書作成装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、文書作成装置が具備する編集機能の1つである文書呼出し機能に関する。

【0002】

【従来の技術】従来の文書呼出し機能は、文書の編集集中に同じ文書作成装置の文書を読み出せるだけであった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記従来技術では、他の文書作成装置で作成した文書は編集集中に呼び出すことができなかった。呼び出すためには、呼び出すとする他の文書作成装置で作成した文書を予め、本文書作成装置の文書としてコンパートしておく必要があった。

【0004】本発明は、選択した文書に応じて自動的にコンパートして呼出し文書を表示し、文書の種類を選択することなく、操作が簡単で文書作成作業を向上する文書作成装置を提供することを目的とするものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的は、表示装置と入力装置と外部記憶装置を持つ文書作成装置において、文書編集集中に他の文書作成装置で作成した文書を指示する手段と、指示した文書を本文書作成装置の文書としてコンパートする手段と、このコンパートした文書を編集集中の文書の中に呼び出す手段とを設けることにより達成される。

【0006】

【作用】文書編集集中、他の文書作成装置で作成した文書を指示する手段により、編集集中の文書中に呼び出す文書を指示し、指示した文書を本文書作成装置の文書としてコンパートする手段により、指示した文書を本文書作成装置の文書にコンパートし、文書を編集集中の文書の中に呼び出す手段により、編集集中の文書中にコンパートした文書を読み出すことができるので、文書作成の作業性を向上するような作用する。

2

【0007】

【実施例】以下、本発明の一実施例を図1により説明する。

【0008】図1は本発明の一実施例を示す構成図であり、1はCRTあるいはLCD等の表示装置、2はキーボード等の入力装置、3はフロッピーディスク装置や固定ディスク装置等の外部記憶装置、4は文書作成装置である。この文書作成装置4は文書編集手段41、文書を編集集中に他の文書作成装置で作成した文書を指示する文書指示手段44、この手段によって指示された文書を本文書作成装置の文書としてコンパートするコンパート手段43、この手段によってコンパートされた文書を編集集中の文書の中に呼び出す呼出し手段42を有している。

【0009】キーボード1は図2に示すように、呼出し機能を実行するための呼出しキー21、呼び出すファイル等を選択するためのカーソルキー23、実行キー22を有している。

【0010】以下、文書編集手段の動作フローを図7のフローチャートを用いて説明する。最初にキー入力を行い（ステップ51）、入力されたキーに応じて、図8に示す本発明の実施例の呼出し処理（ステップ52）、文字列等の複写処理（ステップ53）などの文書編集処理を行う。入力キーが終了キーの時はこの文書編集処理を終了する（ステップ54）。例えば、図3(a)に示す編集画面で呼出しキー21が入力されると呼出し処理が起動される。

【0011】呼出し処理を図8のフローチャートを用いて説明する。

【0012】最初に、呼び出す文書が格納されているエリアを選択するファイル名一覧を表示し（ステップ511）、呼び出す文書が格納されているファイルを選択する（ステップ512）。ファイル名一覧の表示例を図3(b)に示す。

【0013】選択したファイルが「ドライブC」かどうか、あるいは、「3.5 インチフロッピー」でフロッピーが当機種の文書フロッピーでないかどうか判定する（ステップ513、514、515）。選択ファイルが「ドライブC」でないとき、あるいは当該機種の文書フロッピーのときは、従来の文書呼出し処理を行う（ステップ516）。選択ファイルが「ドライブC」、あるいは当該機種の文書フロッピーでない場合は、図9に示す他の文書の呼出し処理を行う（ステップ517）。

【0014】他の文書の呼出し処理を図9のフローチャートを用いて説明する。

【0015】最初に、選択したファイルが「ドライブC」かどうかの判定を行い（ステップ5170）、「ドライブC」ならば、他の文書の文書一覧表の表示等を行い呼び出す処理を行う。「ドライブC」でないならば、ファイルが「3.5 インチフロッピー」で、セットされているフロッピーが他の文書フロッピーかどうかの判定を行い

(ステップ5171)、そうならば、同様に他文書の文書一覧表の表示等を行い呼び出す処理を行う。これら以外の時は何もしないで終了する。

【0016】他文書の文書一覧表の表示等を行い呼び出す処理は、図3(c)に示す呼出し文書の種類選択画面を表示し、呼出し文書の種類を選択させる(ステップ5172)。本実施例では、呼出し文書の種類としてテキスト文書、A文書、B文書がある。

【0017】次に、選択した文書の種類に応じて、該当する他の文書の一覧表を表示し、呼び出す文書を選択させ、選択した文書を当機種の文書にコンバートする(ステップ5173、5174、5175)。呼出し文書の種類としてB文書を選択したときの他の文書の一覧表の表示例を図4(a)に示す。

【0018】次に、選択した文書を当機種の文書にコンバートしたものを画面に表示し、呼出し範囲を指定させる(ステップ5176)。図5(a)に呼出し範囲を指定するときの画面例を示す。図5(a)は呼出し範囲の開始位置を指定する画面、(b)は呼出し範囲の終了位置を指定する画面、(c)は範囲指定が終わったときの画面である。

【0019】呼び出す範囲の指定後、指定した範囲の文書を編集中の文書中に取り込む(ステップ5177)。図6に指定した範囲の文書を編集中の文書中に取り込む時の画面例を示す。図6(a)は、呼出し位置をカーソルで指定する指定させる画面、(b)は指定した位置に、指定した呼出し範囲の文書を読み出した結果である。

【0020】本実施例によれば、予め呼出し文書の種類選択画面を表示し、呼出し文書の種類を選択させ、その種類の文書しか表示しないので、表示される文書の数が少なくなり、該当する文書を探しやすくなる。

【0021】他の実施例を図10のフローチャート図を用いて説明する。

【0022】図10は、他の文書を読み出す処理であり、図9と同様に、図9のステップ517から呼ばれる。

【0023】最初に、選択した文書が「ドライブC」かどうかの判定を行い(ステップ5270)、「ドライブC」ならば、他の文書の文書一覧表の表示等を行い呼び出す処理を行う。「ドライブC」でないならば、文書が「3.5 インチフロッピー」で、セットされているフロッピーが他のフロッピーかどうかの判定を行い(ステップ5271)、そうならば、同様に他の文書の文書一覧表の表示等を行い呼び出す処理を行う。これら以外の時は何もしないで終了する。

【0024】次に、図11に示す他の文書の一覧表を表示し、呼び出す文書(他の文書)を選択させる(ステップ5272)。図11では該当する他のエリア、あるいは他のフロッピー内の選択可能な文書を全て表示してい

る。

【0025】選択後、選択した文書(ファイル)の拡張子を判定して、選択した文書に該当するコンピュータを起動し当機種の文書にコンバートする(ステップ5273、5274、5275)。拡張子が「XJ2」、「XJ3」のときは選択した文書をB文書とみなし、「ASW」のときはA文書とみなし、これら以外のときはテキスト文書とみなして当機種の文書にコンバートする。

【0026】次に、選択した文書を当該機種の文書にコンバートしたものを画面に表示し、呼出し範囲を指定させる(ステップ5276)。呼出し範囲の指定後、指定した範囲の文書を編集中の文書中に取り込む(ステップ5277)。

【0027】本実施例によれば、選択した文書に応じて自動的にコンバートして呼出し文書を表示してくれるので、文書の種類を選択する必要がなくなり、操作が簡単になる。

#### 【0028】

【発明の効果】以上述べたように本発明は、表示装置と入力装置と外部記憶装置を持つ文書作成装置において、文書編集中に他の文書作成装置で作成した文書を表示する手段と、指示した文書を本文書作成装置の文書としてコンバートする手段と、このコンバートした文書を編集中の文書の中に呼び出す手段とを設けたので、選択した文書に応じて自動的にコンバートして呼出し文書が表示され、文書の種類を選択する必要がなくなり、操作が簡単で文書作成作業が向上する文書作成装置を提供することができものである。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明構成の一実施例を示すブロック図。

【図2】キーボードの平面図。

【図3】編集画面、ファイル名一覧画面、呼び出す文書の種類選択画面の出力例を示す図。

【図4】他の文書一覧画面の出力例を示す図。

【図5】文書の呼び出す範囲の設定画面の出力例を示す図。

【図6】文書を読み出す位置指定画面、呼び出した結果画面の出力例を示す図。

【図7】本実施例の文書編集手段を示すフローチャート図。

【図8】呼出し処理を示すフローチャート図。

【図9】他の文書の呼び出し処理を示すフローチャート図。

【図10】他の実施例の他の文書の呼び出し処理を示すフローチャート図。

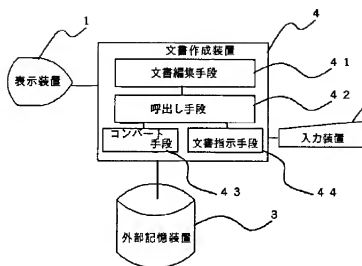
【図11】他の文書一覧画面の出力例を示す図。

#### 【符号の説明】

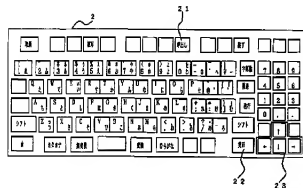
1…表示装置、2…入力装置、3…外部記憶装置、4…文書作成装置、41…文書編集手段、42…呼出し手段、43…コンバート手段、44…文書指示手段。

【図1】

図 1



【図2】



【図4】

\*\*\*文書一覧表\*\*\*

【01】[00] [1000]

デジタルリテラ

項目	1	2	3	4
1	RAMEI	2/2	94-05-14	
2	SEI	2/2	94-05-14	
3	SEI	2/2	94-05-14	
4	SOMEI	2/2	94-05-14	

<呼出し>  
指定後、<実行>を押してください

【図11】

\*\*\*出文書一覧表\*\*\*

【01】[00] [1000]

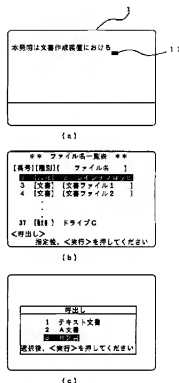
デジタルリテラ

項目	1	2	3	4
1	RAMEI	2/2	94-05-14	
2	SEI	2/2	94-05-14	
3	SEI	2/2	94-05-14	
4	SOMEI	2/2	94-05-14	
5	COM	2/2	94-05-14	

<呼出し>  
指定後、<実行>を押してください

【図3】

図 3



【図5】

図 5

作成日：平成4年4月1日

品名	数量	単価	総額
ワープロ	5,000	5,788	114.0
パソコン	4,200	4,770	113.6
ファクシミリ	2,100	2,188	102.9
複写機	1,800	1,900	105.6

<呼出し>  
呼出し開始位置にカーソルを移動後  
<実行>を押してください

(a)

作成日：平成4年4月1日

品名	数量	単価	総額
ワープロ	5,000	5,788	114.0
パソコン	4,200	4,770	113.6
ファクシミリ	2,100	2,188	102.9
複写機	1,800	1,900	105.6

<呼出し>  
呼出し終了位置にカーソルを移動後  
<実行>を押してください

(b)

作成日：平成4年4月1日

品名	数量	単価	総額
ワープロ	5,000	5,788	114.0
パソコン	4,200	4,770	113.6
ファクシミリ	2,100	2,188	102.9
複写機	1,800	1,900	105.6

<呼出し>

(c)

【図6】

図 6

本装置は文書作成装置における

<押出し>  
取出し位置にカーソルを移動後  
<実行>を押していただく

(a)

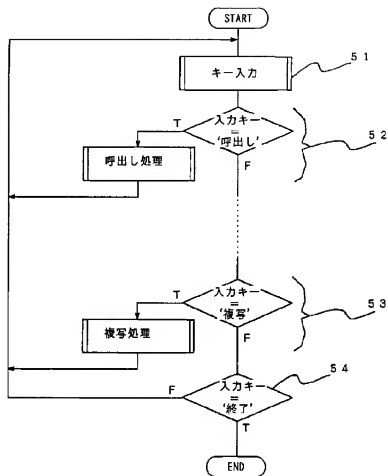
本装置は文書作成装置における

機 名	型 号	価 格	生産年
ワープロ	5,000	5,100	114.0
パソコン	4,200	4,350	113.6
ファクシミリ	7,100	2,100	107.8

(b)

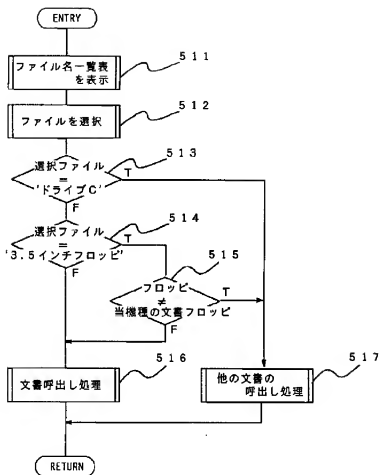
【図7】

図 7



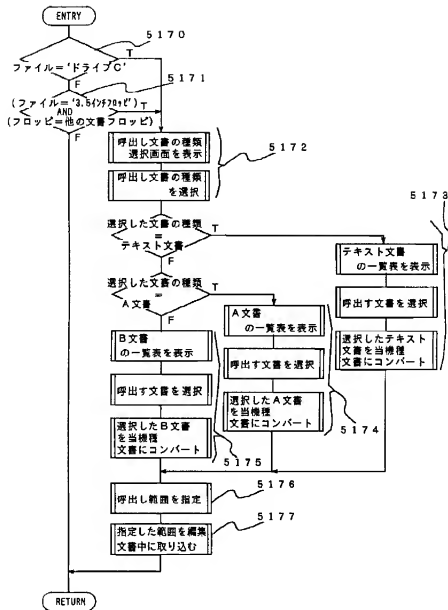
【図8】

図 8



【図9】

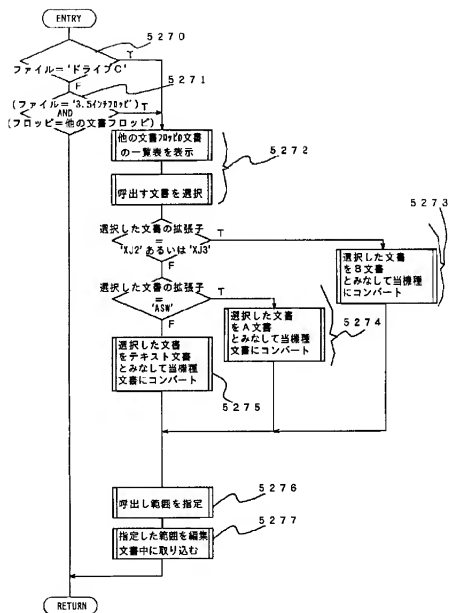
図 9





【図10】

図 10



フロントページの続き

(72)発明者 金子 明弘

茨城県日立市東多賀町一丁目1番1号 株式会社日立製作所情報映像メディア事業部  
内